

# BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME: CODE PURPLE

COLOR: Purple Pearl

COVER STOCK: R2S Gen4 Pearl Reactive

RG:2.50(Low-MED/15P) ΔRG:0.058 (MED/15P)

FACTORY FINISH: 1500-Grit Polish

TRACK FLARE POTENTIAL : 6+(HIGH)

BACK END:19.5 (1-20) MAX LENGTH:16 (1-20)

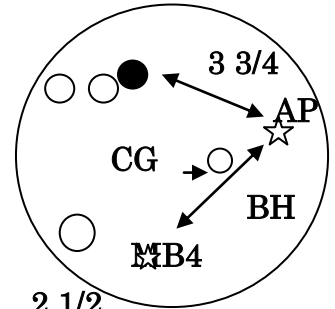
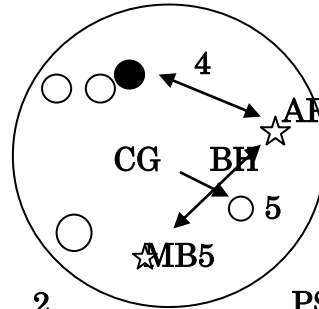


平成 26 年 11 月 8 日

レイアウト例

CODE PURPLE

CODE BLUE



PSA 2

PSA 2 1/2

CA66.5 度

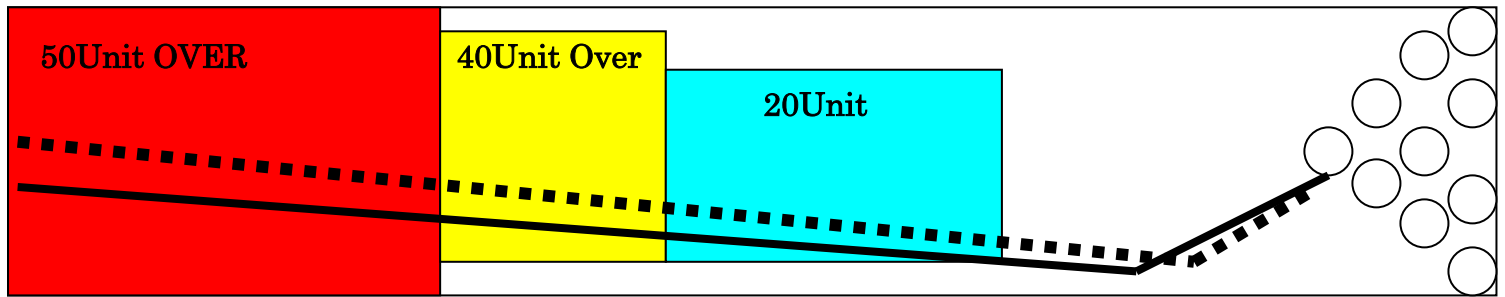
CA50.度

フラー幅 最大 6 1/8 ・ 間隔 1/8

最大 7 ・ 間隔 1/8

適正レーンコンディショニンググラフ

【MEDIUM OIL 編】



0F

15F

27F

38F

45F

比較品ライン

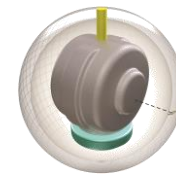
CODE PURPLE

CODE BLUE

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強	1	2	3	4	5		
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○	比較品	△				

RAD4 コア



\*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

大人気 CODE シリーズの最新作 CODE PURPLE の GEN4 シェル素材は走り優先の素材ですが、バックエンドの摩擦は CODE BLUE より低く CODE GREEN より上。パール配合が多い分ショートフック的な要素があり走りときれは継承しています。ピンアクションは激しく絡み合う飛びを見せます。

【ここがポイント】



CODE シリーズは私も非常に好きなライン。今回は R2S の GEN4 パールを表面素材に選択し、手前の走りは噛み過ぎず滑り過ぎず。程よい走りができます。RAD4 はストーム社の中でも 3 番目に高いコア比重なので、走りの強い表面素材を被せた場合のキレ方は私も驚く程強烈な印象ですね。今回の PURPLE は多少暴れる印象もありますが、メディアムコンディションでは絶大な威力を発揮する感じでした。ここまでピン前で動けば、当然ピンアクションは強烈になり、投げているととても気持ち良く癖になりますね。トーナメントでは後半戦での使用が多くなりそうなイメージなので、夜のリーグなどには最適な感じがします。

発売予定：平成 27 年 2 月中旬

テスト協力センター：本八幡ハタボウル

販売価格 ¥49,500 円 (税別)

テスター 石原 章夫プロ 【HIGH SPORTS 専属契約プロ】